

様式第6号(会派用)

政務活動実施報告書

平成30年 9月 3日

村上市議会議長 様

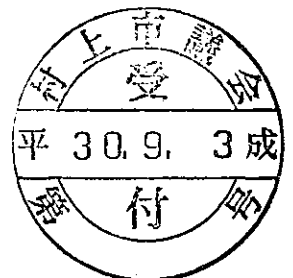
会派名 新政村上

代表者氏名 長谷川 孝



当会は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

	代表者 確認印		経 理 責任者 氏名印	本間 清人
用 務 名	スケートパーク・人工芝多目的グラウンドの先進地視察			
実 施 日 時	平成 30 年 8 月 29 日 (水) 午前 8 時 30 分～ 午後 6 時 00 分 平成 年 月 日 () 午前・後 時 分～ 時 分			
用 務 先	南魚沼市 大原運動公園 小栗山サンスポーツランド			
参 加 議 員 名	本間清人 木村貞雄 佐藤重陽 大滝久志 山田勉 長谷川孝			
全 体 参 加 者 数	6 名			
概 要 及 び 所 見	※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 別紙記載			
備 考	前日は長岡市で新潟県市議会議員研修会が開催されたため、長岡市宿泊			



南魚沼市先進地視察報告

新政村上 長谷川 孝

大原運動公園 スケートパーク

今年4月にグラウンドオープンした屋外スケートボード場 南魚沼市スケートパークは、月1,000名の入場者で推移しているとのこと。

(入場者の割合は、県外3割 県内2割 市内5割)

総事業費は、6,200万円 屋外ですので、雨や雪の場合は使用不可

料金は、新潟県内 1日 高校生以下200円 ナイター利用追加100円
一般 400円 200円

新潟県外 高校生以下300円 ナイター利用追加150円
一般 600円 300円

施設管理者は 公益財団法人南魚沼市文化スポーツ振興公社

「所見」

オープンしたばかりですが、総事業費が掛かっていないことと、屋外施設のコンクリート剥き出しのため施設管理費がかからない点からして、月1,000名の入場者がいることウインタースポーツのスキーボード(南魚沼市石打丸山ガンホー・モンスターパイプ)に繋がる部分を含めて成功事例なのではと感じる。

小栗山サンスポーツランド 人工芝多目的グラウンド

自然豊かな環境の中、充実した施設で多彩なスポーツを楽しめる総合運動公園に整備された人工芝多目的グラウンドを含む各施設は、南魚沼市の立地条件首都圏に近いことが大学などの部活の誘致で予約が埋まるとのこと。

特に宿泊施設が熱心に誘致することから、市民の利用に迷惑が掛からない運営に心がけているとのこと。

施設管理者は ベースボールマガジン社 美津濃など専門業者が指定管理を受け今後も未整備のエリアを含め整備していくとのこと。

「所見」

この日も野球場には早稲田大学の部活の試合が行われていました。

野球場には指定管理者の発案で1年間20万円の野球場の宣伝看板を取り付けるなど専門知識を持ち、県外などに情報発信できる力のあるところを指定管理者として選考する等管理運営に心がける必要を感じます。

特に、(仮称)村上市スケートパークの総事業費からして管理運営は大変な努力が必要と思われます。

事前の質問事項に対する回答は、別紙参考

① スケートパーク及び多目的グラウンドそれぞれの指定管理となられた管理者の経緯について

現指定管理者

小栗山サンスポーツランド…公益財団法人南魚沼市文化スポーツ振興公社 H20年～
大原運動公園…BMS南魚沼スポーツコミュニティ

両社とも指定管理期間5年間の5年目となっており、来年からの次期5年間の公募中であります。

以前は、市内の指定管理体育施設はすべて公社が管理しておりましたが、大原運動公園の改修に合わせて、5年前に施設を分けた公募を行い、BMSが大原の指定管理者となりました。

改修前の大原は無人施設でありましたが、平成26年春から現野球場がオープンし、秋には多目的グラウンドが完成いたしました。テニスコートは以前から20面を有しており県内最大規模であります。

サンスポのスケートパークは、既存のテニスコート4面をスケートパークに改修し、平成29年秋に完成したもので、5年前には想定していなかった施設であります。(指定管理期間中の施設一部改修)

② 2020東京オリンピック合宿地としての誘致運動について

姉妹都市のあるオーストラリア(セルデン)、ニュージーランド(アシュバートン)、ノルウェー(リレハンメル)の3か国を対象に誘致活動を行ったが、オリンピック合宿誘致可能施設の数居が高く、現在はノルウェーの自転車ロードチームに絞って誘致活動を行っている。

スケートボードに関しては、東京オリンピックで採用される新種目のため事前合宿を行うかも含めて未知数。7月には日本スケートボーディング連盟主催の大会も行い、知名度を上げつつ合宿希望国があれば対応を行いたい。

③ スポーツをとおした交流人口の増加策について

市民向けのスポーツ振興や市外からのスポーツ合宿に関しては、生涯スポーツ課が担当し、市外からの参加者の多いイベント(グルメマラソン、5,000人グルメライド、1,400人)等は商工観光課が担当しております。

7月下旬～8月の高校・大学の合宿時期には市内体育施設の合宿需要が増すため市民利用に制限がかかることがあります、市民利用と合宿利用の調度良い落としどころに苦慮しております。

スケートパークに関しては、若者の定住施策の一つでもあり、この施設があ

ることにより若年層の流出減、流入増につながればと考えております。

また、新潟県から補助金をいただきモンスターパイプを作成した市として、市民利用だけではなく、広く県内外からの利用者受け入れを行う必要があり、オールアルビレックススノーボードアカデミーの冬季合宿の受け入れ事業を開始したところであります。